

戦評用紙

大会名: 全日本実業団ハンドボール選手権大会

対戦チーム 松口 対 ヲニ-セミツツタ九井

会場 県立武道館 平成 20年 8月 2

戦評

開始2分、ヲニ-は8番 亀山のシュートで先制。これに対し松口は7番 藤井のシュートで応戦。その後両チーム堅い守りとキーパーの好セーブもあり一進一退のゲーム展開。20分頃から松口5番 西本のポストシュートで逆攻で連続4得点とあがり活躍の逆点。前半は14-12の2点差、松口リードで折り返す。

後半開始直ぐに松口7番の藤井のシュートで得点。その後松口6番 吉田のポストシュートで松口が3連続得点。

しかし3分をすぎるとからヲニ-のディフェンスが機能し17番 栗の逆攻などで8分には同点に追いつく。

19分、ヲニ-は相手のミスから逆攻で得点を重ね逆点。21分ヲニ-キーパー 川口ハシの好セーブにより松口にはリズムを戻さず

25分まではリードを保つ。しかし25分をすぎるとから松口はヲニ-の2番 呉にマニマニをつまヲニ-の攻撃の起点を

つみ得点とあがり28分に松口3番 安心院のステップシュートで再び逆点。そのま後半の終了がたかない

27-26の1点差で松口が接戦を制する。